

本会の活動から

東洋大学と帝京短期大学の学生の 見学実習に協力

養護教諭をめざす学生を対象にしたこの実習は3年ぶり4回目の開催。今回の実習は8月5日に東洋大学赤羽台キャンパスで行われ、東洋大学から11人、帝京短期大学から6人が参加し、本会が協力した。



午前の部は、事務スタッフが学校保健事業や学校検診Q&Aなどについて説明。午後の部では検査技師立ち会いの下、心電図検査や側弯症検査の検診現場の見学実習を行い、実際に検診機器に触れ、どのように検査しているのかを体験してもらった。学生からはさまざまな質問が飛び交い、本会スタッフにとっても有意義な実習となった。

東京都島しょ部のがん検診に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした今年度のがん検診のうち、新島村の子宮がん、乳がん検診が5月21～26日に、大島町の乳がん検診が6月9～12日に、神津島村の子宮がん、乳がん検診が5月10～14日に、肺がん・結核検診が8月26～29日にそれぞれ行われ、本会が協力した。

学術集会への参加等

●第30回日本乳癌学会学術総会が6月30日～7月2日、「次世代に繋ぐ乳癌診療——それぞれの役割」をテーマに開催され、がん検診・診断部長の坂佳奈子が講師として参加。教育セミナー「マンモグ

ラファイ・乳房超音波診断の基本——ガイドラインの改訂をふまえて」とBC-PPAPセッションで講演した。

●全国労働衛生団体連合会の主催するオンライン研修会が、検査に関する知識や技術、精度管理の向上を目的にWeb開催された。本会では、このうち7月13日～8月31日に行われた「胃X線検査」と7月26日に行われた「検体検査精度管理」に検査技師3人が参加した。

●第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会が7月14～16日、「歴史に学び、婦人科腫瘍学の未来を描け 先達を越えろ！」をテーマに開催され、理事長（検査研究センター長）の久布白兼行が参加した。

●第58回日本小児循環器学会総会・学術集会が7月21～23日、「こころを紡いでいのちを繋ぐ——Let's discuss and co-operate for children's heart」をテーマに北海道札幌市で開催され、理事で事業本部地域・学校担当本部長の阿部勝巳、地域・学校保健事業部長の高橋政道、検診検査部生理機能二科長の北尾智子の他、職員5人が参加。生理機能二科の内山由里加が「学校心臓検診での12誘導心電図におけるASD検出の有用性」と題して発表した。

●第74回日本産科婦人科学会学術講演会が8月5～7日、「共創と飛翔——アジアへ、そして世界へ——Beyond diversity and space」をテーマに福岡県福岡市で開催され、理事長（検査研究センター長）の久布白兼行が参加した。

●第49回日本マスキリーニング学会学術集会が

8月26～27日、「子どもたちの健やかな成長のために我々ができること」をテーマに開催され、理事長（検査研究センター長）の久布白兼行と理事で事業本部地域・学校担当本部長の阿部勝巳、地域・学校保健事業部長の高橋政道、同部事業二課長の白石麻沙美、母子保健検査部小児スクリーニング科長の石毛信之の他、職員3人が参加。

このうち、石毛は一般演題で座長を務めた他、「東京都における拡大新生児スクリーニングの試験研究（第2報）」と題して発表した。また同科の渡辺和宏も一般演題で「新生児マススクリーニング濾紙血液検体SIC-MS/MS法ステロイドプロファイル基準値設定」と題して発表した。

●第63回日本人間ドック学会学術大会が9月2～3日、「女性のための人間ドック」をテーマに千葉県千葉市で開催され、理事長（検査研究センター長）の久布白兼行、常務理事で事業本部職域担当本部長の大島利彦、職員保健事業部長の廣瀬篤史、健康増進部次長の加藤京子の他、職員3人が参加した。このうち、廣瀬は特別企画のグループワークでファシリテーターを務めた。

●第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会が9月8～10日、「持続可能な未来への挑戦！」をテーマに神奈川県横浜市で開催され、理事長（検査研究センター長）の久布白兼行が参加した。

●第38回日本診療放射線技師学術大会が9月16～18日、「タスク・シフト／シェアに伴う業務拡大を推進しよう——革新への挑戦」をテーマに開催され、放射線部の職員1人が参加した。

本会の職員が 全衛連の功績賞・奨励賞を受賞

全国労働衛生団体連合会（全衛連）は、会員施設において長年にわたり労働衛生関係の業務に精励し、顕著な功績が認められ、他の模範となる者に功績賞・奨励賞を贈っている。今年度の表彰では、本会の医務管理部、放射線部、総務部の職員3人が受賞した。

第300回記念ヘルスケア研修会が開催

健康管理コンサルタントセンターと本会が主催するヘルスケア研修会の第300回記念研修会が9月7日に開催。コロナ禍のため聴講者の入場を取り止め、幹事ら関係者のみの参加での実施となった。当日の様子は12月下旬までオンデマンド配信される（視聴方法等は25頁を参照のこと）。記念講演・「新型コロナウイルス感染症 2年半を振り返る」

講師・森屋恭爾氏（東京大学名誉教授、東京大学保健・健康推進本部本郷保健センター特任研究員）



本会理事、評議員の就任

中村倫治理事の辞任（辞任日 令和4年6月30日）に伴い、西山智之（東京都福祉保健局長）が理事に就任した。また、東京都福祉保健局技監の交代に伴い、田中敦子に代わり成田友代が東京都福祉保健局技監として評議員に、さらに遠藤善也（東京都福祉保健局保健政策部長）が新たに評議員に就任した。

機関誌「よぼう医学」読者アンケートについて

日頃より、公益財団法人東京都予防医学協会の機関誌「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。

弊誌では、より充実した誌面づくりのために、記事内容に関する読者アンケートを実施いたします。

ぜひ、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

▼下記のURLまたは2次元コードへアクセスし、ご回答ください。

https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/form/yobou_questionnaire/

